

氏名： 荒木 美奈子 (ARAKI Minako)
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
職名： 准教授
学位： Ph.D.(開発研究)
専門分野： 開発研究、アフリカ地域研究
E-mail： araki.minako@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

開発／アフリカ地域研究／タンザニア／住民組織／内発的発展

◆主要業績

- ・荒木美奈子 2009. 「プロセスとしての「地域開発」—一定住者と漂泊者の相互作用に着目して」『科学研究費補助金(基盤研究S)研究成果報告書：地域研究を基盤としたアフリカ型農村開発に関する総合的研究』, 383-395.

◆研究内容 / Research Pursuits

タンザニアをフィールドとし、「開発」実践における多様なアクター間の相互作用に着目し、研究を行っている。JICA 専門家として携わったソコネ農業大学地域開発センター (SCSRD) プロジェクトの対象地であったタンザニア南西部ムビンガ県において、2004 年度から科研「地域研究を基盤としたアフリカ型農村開発に関する総合的研究」(代表・掛谷誠)のメンバーとして、フィールド調査を行ってきた。2008 年度が最終年であることから、日本アフリカ学会大会にて「タンザニアにおける農村研究と開発実践」のセッションを設け報告を行い、研究成果は『科研研究成果報告書：地域研究を基盤としたアフリカ型農村開発に関する総合的研究』としてまとめられた。

◆教育内容 / Educational Pursuits

1. 学部：前期に「国際協力学」「国際協力方法論Ⅱ」「国際協力特論Ⅰ」「グローバル文化総論Ⅰ(オムニバス)」を担当、後期に、「国際協力方法論Ⅰ」「アフリカ社会文化論Ⅰ」「LA科目・人間の安全保障/開発と共生」を担当するとともに、グローバル文化学環の卒論の指導を行った。
2. 大学院
前期に「国際協力論」、後期に「国際協力論演習」の授業を担当するとともに、修士論文の指導を行った。

◆研究計画

『科研研究成果報告書：地域研究を基盤としたアフリカ型農村開発に関する総合的研究』(2009年3月)をもとにした出版計画が進められている。JICAプロジェクトでの経験及び科研でのフィールド調査を通して得られた成果を総括していくとともに、開発政策や実践へのフィードバックも行っていく予定である。

◆メッセージ

「開発」実践と研究の双方からアフリカ(特にザンビアとタンザニア)に関わってきました。実践と研究をつなぐ視点やアフリカの課題と可能性の双方を、伝えていきたいと考えています。また、「国際協力」=「先進国(専門家)が貧しい人々を支援する」というイメージが根深くありますが、グローバル化が進む世界で、私たちの生活がいかに他の地域と繋がり、相互依存しているかを理解し、モノや出来事の向こうにある人々の暮らしに思いを馳せ、関係性のなかで「国際協力」を考えるという視点も大切です。単に知識を得るだけではなく、批判的かつ建設的に考え、小さなことでも行動に移す力も養ってほしいと思います。